

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公告

⑫ 実用新案公報(Y2)

平3-40504

⑬ Int. CL.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告 平成3年(1991)8月26日

B 23 D 17/00
E 04 G 23/08Z 7041-3C
A 8504-2E

(全3頁)

⑮ 考案の名称 構造物用カッタ装置

⑯ 実 願 昭61-146883

⑰ 公 開 昭63-53615

⑱ 出 願 昭61(1986)9月25日

⑲ 昭63(1988)4月11日

⑳ 考 案 者 伊 達 謙 一 郎 茨城県土浦市神立町650番地 日立建機株式会社土浦工場内

㉑ 考 案 者 宮 田 憲 一 茨城県土浦市神立町650番地 日立建機株式会社土浦工場内

㉒ 出 願 人 日立建機株式会社 東京都千代田区大手町2丁目6番2号

㉓ 代 理 人 弁理士 冨田 輝男

審 査 官 播 博

㉔ 参 考 文 献 実開 昭56-54134 (JP, U) 実開 昭58-42259 (JP, U)

1

2

㉕ 実用新案登録請求の範囲

本体に一对のリンクを開閉できるように支持ピンを介して支持させ、両リンクにそれぞれ刃を取付けた構造物用カッタ装置において、前記刃を、たがい平行な二つの平行部と、その平行部につらね、逆V形に形成した先端部との三部で構成し、二つの平行部間の幅を本体の幅より大きくしたことを特徴とする構造物用カッタ装置。

考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この考案は、鉄骨、鉄板等の構造物の切断、破壊に使用するカッタ装置に関する。

〔従来の技術〕

この種の従来のカッタ装置の一例を第7図ないし第10図を参照して説明する。

第7図および第8図に示すように、枠板状の本体1の前側中央部には支持ピン5が取付けられており、その支持ピン5には上下一対のリンク3の一端部が揺動できるように支持されている。本体1の上下部にはそれぞれシリンダ4が設置されており、シリンダ4のピストンロッドの先端部はそれぞれ上、下のリンク3の連結部に連結されている。上下のリンク3、3の相対向する縁部には、それぞれ直線状の刃2が設けられている。シリン

ダ4を伸長させれば上下のリンク3が閉じ、シリンダ4を短縮させれば上下のリンク3が開く。すなわち、第9図に示すような被切断物6の切断は、上下のリンク3を閉じることにより行う。

5 〔考案が解決しようとする問題点〕

このカッタ装置の一对の刃2は直線状になっているため、第10図に示すようにその切断形状6aの幅は狭く、本体1が切り口に突き当たり、刃2の長さ以上には切り進めない。

10 この考案は刃の長さより奥行きが深い被切断物でも切り進むことができるカッタ装置を提供することを目的とする。

〔問題点を解決するための手段〕

上記の目的を達成するため、この考案は、本体25に一对のリンクを開閉できるように支持ピンを介して支持させ、両リンクにそれぞれ刃を取付けた構造物用カッタ装置において、前記刃を、たがい平行な二つの平行部と、その平行部につらね、逆V形に形成した先端部との三部で構成し、二つの平行部間の幅を本体の幅より大きくしたことを特徴とする。

〔作用〕

一对の刃の二つの平行部の間の幅が本体の幅より大きいので、本体が1回目の切断工程による切

(2)

実公 平 3-40504

3

4

断部に入り込むことができる。

〔実施例〕

以下、この考案の一実施例を第1図ないし第6図により説明する。それらの図において、第7図ないし第10図と同じ符号をつけたものは、同じもの、もしくは相当するものを表わす。

上下のリンク3の相対向する端縁部にはたがい平行な二つの平行部2aと、その平行部2aにつらね、逆V形に形成した先端部2bとの三部からなる刃2が設けられている。二つの平行部2a、2a間の幅は、本体1の幅より大きく設定されている。

その他の構成は、上述した従来のカッタ装置と同様である。

上下一対の刃2で、被切断物6を挟み込んで切断を行う。刃2の平行部2a間の幅が本体1の幅より大きいので、第4図に示す切断部分6aの幅bが第3図に示す本体1の幅aより大きくなり、第5図に示すように本体1が1回目の切断工程による切断部分に入り込むことができる。したがって、刃2の長さより奥行きが深い被切断物6でも切り進むことができる。

なお、第3図は1回目の切断状況を表わし、第5図は2回目の切断状況を表わす。

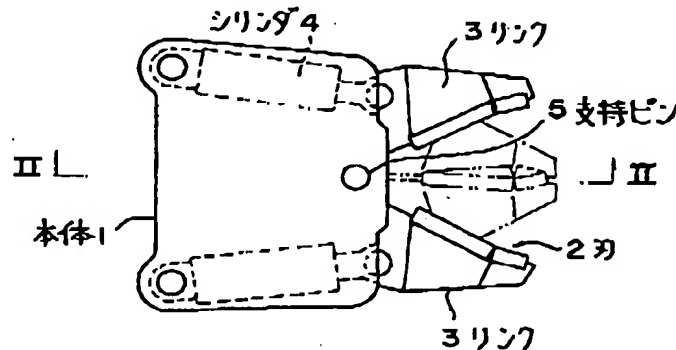
〔考案の効果〕

以上説明したように、この考案によれば、奥行きが深い被切断物でも支障なく切断することができ、刃が短くても切り進めるゆえ、刃の長さを短くすることができる。したがって、シリンダの推力は小さくて足り、シリンダの小形化をはかれる。

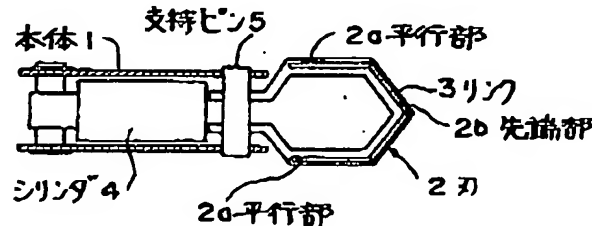
10 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例を示す側面図、第2図は第1図のII-II断面図、第3図は第1図のカッタ装置による1回目の切断状況を示す平面図、第4図は第3図における被切断物の切断形状を示す平面図、第5図は第1図のカッタ装置による2回目の切断状況を示す平面図、第6図は第5図における被切断物の切断形状を示す平面図、第7図は従来の構造物用カッタ装置を示す側面図、第8図は第7図のⅥ-Ⅵ断面図、第9図は第7図のカッタ装置による切断状況を示す平面図、第10図は第9図における被切断物の切断形状を示す平面図である。

第1図



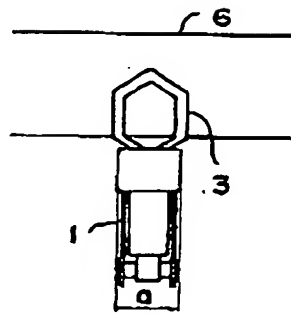
第2図



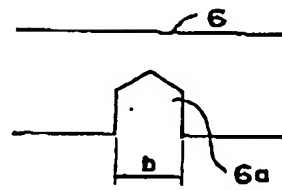
(3)

実公 平 3-40504

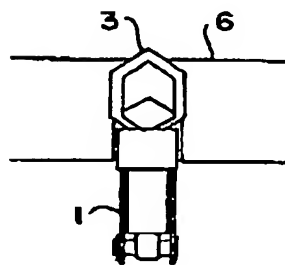
第3図



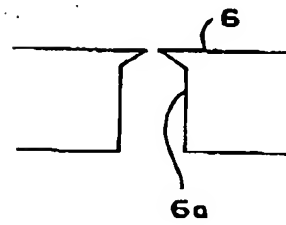
第4図



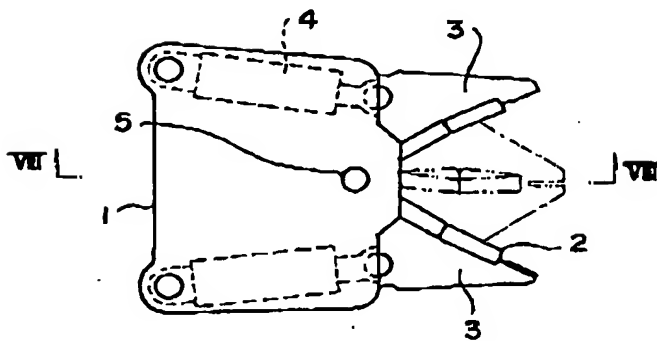
第5図



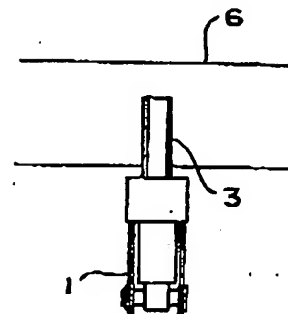
第6図



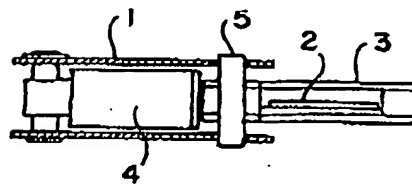
第7図



第9図



第8図



第10図

